

第13回奈良県中学校サッカー春季大会 開催要項

- 1 趣 旨 奈良県中学校体育連盟及び（一社）奈良県サッカー協会は、次代を担う中学生年代のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、中学校サッカー部の普及と発展を目的に、奈良県中学校体育連盟加盟団体全てが参加できる大会として実施する。
- 2 大会名称 第13回奈良県中学校サッカー春季大会
- 3 主 催 奈良県中学校体育連盟、（一社）奈良県サッカー協会
- 4 主 管 奈良県中学校体育連盟サッカー専門部 （一社）奈良県サッカー協会3種委員会
- 5 期 日 2016年4月17日(日)・24日(日)・29日(金・祝)
- 6 会 場 県内各中学校グラウンド 等（調整中）
- 7 参加規定（1）奈良県中学校体育連盟に今年度加盟登録予定の単一中学校であり、（公財）日本サッカー協会に第3種加盟登録されたチームで、次の条件を満たしていること。
 - ① 奈良県中学校体育連盟に登録予定の選手であること。
 - ② （公財）日本サッカー協会に加盟登録されたチームに2016年4月8日までに登録された選手であること。また、（公財）日本サッカー協会発行の写真付き選手証を所持していること。なお、本人確認ができるカラーコピーなどもこれを認める。
 - ③ クラブチームからの移籍選手は、4月4日以前に移籍が完了していること。また、第31回日本クラブユースサッカー(U-15)選手権大会奈良県大会にエントリーされていないこと。（従前からの文章です。これでいいですか？）
 - ④ 一家転住等の理由により上記期限以降に追加登録した選手が大会参加を希望する場合は、専門委員長の別途了承のもと大会への参加が認められる。

（2）1チーム引率者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の計21名以内とする。

（3）参加生徒の引率者・監督は出場校の教員とする。その他コーチについては校長の認めた者とする。

（4）選手数が不足している学校による「複数校合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合のみ認めることとする。もちろん、「11名以上の選手を有する学校」（以下、「満たしている学校」という）同士の合同は不可である。

 - ① 「奈良県中学校総合体育大会複数校参加規定」（別記）に従い、奈良県中学校体育連盟が認めたものであること。
 - ② 極端な勝利至上主義を目的とする合同であってはならない。
 - ③ チームの編成は、原則として「11名に満たない学校」（以下、「満たない学校」という）どうしとする。また、3校での合同は不可とする。

※ただし、特例措置として、「満たない学校」と「満たしている学校」の合同を認めることがある。その際、大会参加のための救済措置であるという視点を十分踏まえ、合同のチームの編成のあり方については、十分配慮すること。なお、その詳細は奈良県中体連サッカー専門部内規「複数校合同チームの参加規定について」による。

※また、「満たない学校」と「満たしている学校」の一部が合同することは不可。大会参加は、1校1チームのみ。
 - ④ 大会参加の申請・申込の手続きは、それぞれの学校の顧問者が協議の上、代表する学校が行うこと。
 - ④ 複数校合同チームとしての参加を専門委員長が別途了承すること。承認は、2016年4月8日(金)(顧問者会議の日)までに得ておくこと。
- 5 競技方法（1）トーナメント方式により、優勝以下第3位までを決定する。

（2）試合時間はすべて、60分（30分-5分-30分）とする。

 - ① 【1回戦～準決勝、順位決定戦】

規定の競技時間内に勝敗の決しない場合はペナルティーキック方式により、次回戦に進出するチームを決定し、順位決定戦においては勝敗を決定する。

② 【決勝戦】

規定の競技時間内に勝敗の決しない場合は5分間の休息の後10分(5分ハーフ)による延長戦を行い、なお決しない場合は両チーム優勝とする。

- 6 競技規則 (1) ルールは最新の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。
- (2) 選手のエントリーは、所定の用紙を使用し、自チームの初戦打合せ時に「エントリー用紙」**原本1部とその写し1部**を本部に提出しチェックを受けること。なお、その写しは大会本部の控えとする。「エントリー用紙」の受付後のエントリー変更は認めない。以後、チェックを受けたエントリー用紙原本の複写を各試合のエントリーメンバー票とする。また各試合15分前までにメンバー票の先発メンバー欄に[○]印をつけ、本部に2部提出すること。
- (3) **出場する選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を提示し、確認を受ける。選手証の不携帯や写真を貼っていない場合は出場を認めない。ただし、電子登録証(写真が登録されたもの)やカラーコピー(顔写真がはっきり判別できること)で確認できたものは出場を認める。**
- (4) 試合開始時刻に試合可能な人数(7人)に達していない場合は不戦敗とする。
- (5) 選手交代：
① あらかじめ提出されたメンバー表に示された選手のうち最大7名が、主審の許可を得て交代することができる。1度退いた選手は、再び出場することはできない。
② 交代要員は、第4の審判員に対して、交代する選手の番号を通告し、服装・用具の点検を受けた後、主審の許可を得てからフィールド内に入ること。
※ 前後半・延長戦中はもちろん、ハーフタイムのインターバル中、延長戦に入る前に選手交代する場合も、適正に行われること。
- (6) 試合球はJFA公認5号球(新球)とし、各チーム必ず用意すること。
- (7) ユニフォームについては、「ユニフォーム規定」(別記)を満たすもので、以下のとおりとする。
① 選手はすべて同一の服装であること。
② ゴールキーパーの服装は他の選手と区別できる服装であること。
③ ユニフォームは色違いのものを2着用意し、選手番号は同一とする。
④ 同系統色が重なった場合、コイントスの上、一方のチームにユニフォームの変更を求める。
⑤ ユニフォームのシャツの主たる色が黒色、または紺色であるものは、これを認めない。
⑥ ユニフォームの広告表示については、中体連規定によりこれを認めない。
⑦ ユニフォームのシャツの前面・背面に「参加申込書(エントリー用紙)」に登録された選手番号を付けること。なお、選手番号については、1~99とする。また、ショーツの番号は、付けることが望ましい。
⑧ ユニフォームのシャツの背面は、番号以外に選手の個人名は認められるが、その他(チーム名、県名等)は認められない。
⑨ アンダーシャツおよびアンダーショーツを着用する場合は、袖またはショーツの主たる色と同色であること。
- (8) 退場処分を受けた者、または警告を2回(累積)を受けた者は、次の1試合に出場できない。それ以外に、処遇を規律・フェアプレー委員会(専門委員長)にて審議し、決定する場合がある。なお、その決定に際し、特に悪質な行為(審判に対する攻撃的な、侮辱的な言動等)については、大会をまたいでの出場停止を行う場合がある。
- (9) コーチングについては、ベンチまたは、テクニカルエリア内より行うこと。なお、テクニカルエリア内に立ってコーチングできるのは、その都度引率者、監督、コーチのうち1名のみである。
ただし、会場によっては、テクニカルエリアが設置できない場合もある。その場合は、ベンチのみからのコーチングとすること。
- (10) 日没、雷等により試合続行が困難な場合は試合を一時中断する。中断・再開の判断は、審判団とマッチコーディネーター、および大会本部が協議の上、判断する。なお、雷等の場合、再開の目安は60分とする。
また、日没、雷等により一時中断された試合がその日のうちに再開できない場合は、日

を改めて、中断によって行われていない残りの時間（残分）を行い、ゲームを成立させるものとする。

なお、このことによるその後の大会日程の変更等は、追って連絡するものとする。

6 表 彰 優勝以下第3位までを表彰する。
7 その他

- (1) チーム代表者並びに競技運営にあたっている運営役員は、必ず第1試合の開始1時間前(各会場にて変更可)に本部に集合し、運営にあたること。なお、会場準備は、第1試合開始1時間30分前(各会場にて変更可)に開始し、チーム代表者並びに競技運営にあたっている運営役員もできるだけ協力をお願いします。但し、競技場の準備等(補助員等)については、別に会場担当及び大会本部より連絡をすることがある。
- (2) 敗退したチームの顧問は、次回戦に進出すべき予定ゲームの運営役員及び審判を務めなければならない。(補助員の場合も含む)
 - ※ 共通理解事項として、以下の項目を確認しておく。
 - ① 第1日目に敗退したチームには、その後行われるトーナメントの運営役員及び審判が配当される。具体的な配当は、第1日目終了後メールで配信する。必ず確認すること。
 - ② 次回戦に進出したチームにも運営役員及び審判の担当を配当することがある。
 - ③ いずれかの回戦において、会場担当した学校については、敗退した後の次回戦の運営については免除する。ただし、審判配当が入る場合がある。
- (3) ベンチについては、会場本部からピッチに向かって、左側にトーナメント表の小さい番号のチーム、右側に大きな番号のチームとする。
- (4) ベンチ入り人数は、引率者1名、監督1名、コーチ1名、選手18名の計21名以内とする。また、給水、試合前のピッチ内アップについても、同様とする。
- (5) 審判は必ず審判服を着用すること。また試合開始1時間前に到着し、審判団として打ち合わせを行うこと。予備審も試合前に指名しておくこと。また、
- (6) マッチコーディネーターをおくこと。第3者の立場の派遣役員に依頼することが望ましいが、無理な場合は、その会場の役員の中から指名する。
 - ・ 試合運営の総括責任者である。
 - ・ 試合開始前にマッチコーディネーター=ミーティングを行う。
 - ・ グラウンド状況の把握。
 - ・ 試合運営状態、試合進行状況の把握とチェック。
 - ・ 選手の態度のチェック。
 - ・ 審判員のチェック。
 - ・ 悪天候や試合におけるトラブルが発生した場合、審判団、役員と協議の上で試合続行の可否について最終判断を下す。
- (7) 試合開始1時間前をめどとして、マッチコーディネーター=ミーティングを行い、以下の内容を確認するものとする。ミーティングは、マッチコーディネーター・審判団・対戦チーム代表で行う。ただし、その会場の日程上の都合等でミーティングの時間がとれない場合は、朝の打ち合わせ時に時間を確保して行っておくこと。
 - ・ 試合運営上の必要な内容(試合開始時刻・試合時間・メンバーチェックの時刻等)について
 - ・ ウォーミングアップ(ピッチ内の使用の可否・時間等)について
 - ・ ユニフォームの色について
 - ・ 悪天候時には、試合続行の判断について
- (8) 大会期間中の負傷及び疾病については、各チームで対応し、主催者はその責を負わない。
- (9) 会場でのマナーについて、大会参加チーム(選手・エントリーされていない選手、応援者・保護者等を含む)は、以下の点に留意すること。
 - ① 会場施設の美化に努めること。ゴミはすべて各チームで必ず持ち帰ること。
 - ② 会場敷地内が、全面禁煙となっている会場では喫煙しないこと。また、喫煙可能な場合であっても、喫煙は指定された場所のみとし、マナーを遵守すること。
 - ③ 会場使用のマナーを遵守すること。特に、保護者の来場について、会場によっては、十分な駐車場が無い場合もあるので、公共の交通機関を利用するか、乗り合わせで来場されるように周知すること。なお、車で来場する場合は、大会本部より各校顧問を通して配布された駐車券を車内の見えやすい場所に掲示すること。駐車場所については、会場校の指示に従うこと。また、会場周辺への路上駐車は絶対にないよう周知すること。今

後の会場使用について制限を受けることがある。

- ④応援は、各会場より指定された場所で行うこと。マナー(判定・プレーに対する暴言等)にも各チーム顧問として十分注意を払うこと。

以上の点について大会関係者から指摘があった場合、規律委員会に諮りその処遇を決定する場合がある。

※ 大会の運営方法等について詳細に記した【運営確認事項】を後日メールで配信する。必ず確認すること。

8 参加申込 (1) 申し込み方法

申し込み用ファイルに必要事項を記載し、電子メールに添付した上で、下記アドレス(専門委員長 糀 良彦)まで送信して、参加申し込みを行う。

※不参加の場合も、必ずメール送信すること。

アドレス: naratyutairen_soccer@yahoo.co.jp

件名: 【春季大会エントリー ○○中学校】 ※○○には中学校名を入力

(2) 申し込み〆切:

2016年3月24日(木) 必着

※参加申し込みのメールを受信したときには、受領証を返信いたします。返信メールをご確認ください。

- (3) 複数校合同チームでの大会参加を申込したチームが、部員増が見込まれ単独チームでの参加に切り替えたい場合は、4月8日までに専門委員長にその旨を連絡すること。

9 監督会議 (1) 日時: 2016年4月8日(金) 午後2時30分~

- (2) 場所: 橿原市中央公民館 2階 講堂

住所: 橿原市小房町11-1

電話: 0744-22-2001

- (4) 参加費: 5000円

※監督会議で徴収いたします。

(3) 注意事項:

① 抽選会には必ず各チームの代表者、またはチーム内の代理人が出席すること。

② 万一、欠席または遅刻の場合は、必ず専門委員長(糀 良彦)まで連絡すること。

問い合わせ

専門委員長 高田西中 糀 良彦